



TITLE:

サケガシラ(フリソデウオ科)の和歌山県白浜町およびその近郊の沿岸への出現記録

AUTHOR(S):

久保田, 信; 田名瀬, 英朋

CITATION:

久保田, 信 ...[et al]. サケガシラ(フリソデウオ科)の和歌山県白浜町およびその近郊の沿岸への出現記録. 南紀生物 2004, 46(1): 61-62

ISSUE DATE:

2004-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188301>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

サケガシラ（フリソデウオ科）の 和歌山県白浜町およびその近郊の沿岸への出現記録

久保田 信*・田名瀬英朋*

Shin KUBOTA and Hidetomo TANASE: Occurrence records of *Trachipterus ishikawae* (Trachipteridae)
from coasts at Shirahama Town and its neighbouring areas, Wakayama Prefecture, Japan

はじめに

フリソデウオ科に属するサケガシラ *Trachipterus ishikawae* JORDAN et SNYDER は、わが国では北海道から沖縄県の沖合い中深層に生息する生活史が不明な大形魚類の1種で、外見がリュウグウノツカイに類似する（望月, 1998; 林, 2000）。和歌山県白浜町周辺海域ではこの

表 1 和歌山県白浜町およびその近郊の沿岸で記録されたサケガシラ

Table 1. Records of *Trachipterus ishikawae* at coasts of Shirahama Town and its neighbouring areas, Wakayama Pref., Japan.

発見場所・状態	発見年月日	体長 (cm)
塔島・漂着死亡	1987年5月21日	255
瀬戸漁港・漂着死亡	1994年6月4日	約200
白良浜・漂着 ¹⁾	1996年10月16日	約250
湯崎海岸・水深2mを遊泳 ²⁾	1997年6月7日	約200
芳養沖約2km・漁網捕獲 ³⁾	1997年12月6日	276
鴨居海岸・漂着	2004年1月12日	230
鉛山湾・水深1mを遊泳	2004年1月20日	約200

- 1) 紀伊民報, 1996年10月18日付け.
- 2) 紀伊民報, 1997年6月7日付け.
- 3) 紀伊民報, 1997年12月6日付け.



図 1 和歌山県白浜町鴨居海岸へ出現したサケガシラ
Fig. 1. *Trachipterus ishikawae* appeared at a coast of Kamoi, Shirahama Town, Wakayama Pref., Japan in January, 2004.

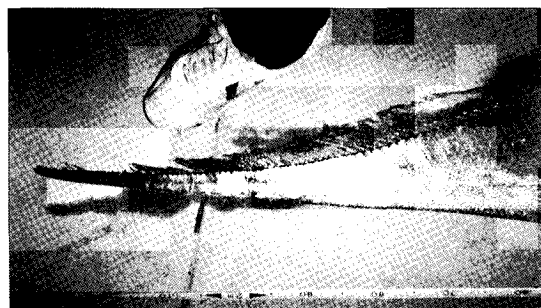


図 2 図 1 で示した個体の尾鰭の取れた尾部
Fig. 2. Tail part of the same specimen of *Trachipterus ishikawae* shown in Fig. 1, lacking a caudal fin.

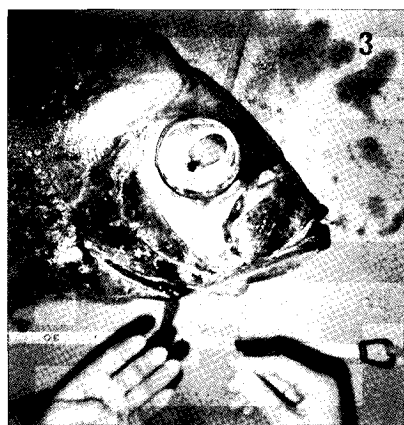


図 3 図 1 で示した個体の頭部
Fig. 3. Head of the same specimen of *Trachipterus ishikawae* shown in Fig. 1.

* 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学瀬戸臨海実験所
Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

20年ほどの期間中に7個体が散発的に沿岸に漂着したり、突発的に出現したのでそれらの記録をまとめて報告する(表1; 図1-3)。

白浜町周辺海域での出現

過去20年ほどの期間中に白浜町周辺海域から記録されたサケガシラは、いずれも体長が2mを超えた大形個体であった(表1)。これらが海岸や海岸附近の水深の浅い場所に出現した理由は、繁殖を終えた個体が老衰などの理由で力尽きて浮上し、波浪などで岸の方へ吹き寄せられると推察される。発見時に体に傷などが見られなくても、華奢な部分のせいかもしれないが、尾鰭が欠損している個体ばかりであった。

本種の近似種はテンガイハタで、近年、青森県沖や遠州灘でいずれも体長150cm前後の1個体ずつが漁獲され報告された(地村ほか, 2002)。テンガイハタとサケガシラの分類的な差異は不明瞭との指摘があるように(益田ほか, 1984)、両種の区別は、頭部背縁から吻部にかけての傾斜が主な特徴となって別種として取り扱われている。しかしながら、発育段階による相対成長差や雌雄差などの吟味も含めた多くの標本での精査が今後必要と思われる。

謝 辞

1987年の個体を知らせて下さった白浜町の森山惣一氏、1997年に出現した2個体の情報を知らせて下さった紀伊民報社の深見 誠氏、白浜町鴨居漁港に漂着した個体を知らせて下さった白浜町の瀬道隆男氏、鉛山湾に出現した個体の情報を寄せて下さった白浜町のダイビングショップMiss Oceanの川口 敬氏と門野泰三氏に深謝します。

引 用 文 献

地村佳純・生田春幸. 2002: 遠州灘で捕獲されたテンガ

イハタ *Trachipterus trachipterus*. 碧南水族館年報, (15), 32.

林 公義. 2000: フリソデウオ科. *in* 日本産魚類検索 全種の同定 第2版 1. 866 pp. 東海大学出版会, 東京.
益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編. 1984: 日本産魚類大図鑑. 448 pp., 370 Pls., 東海大学出版会, 東京.

望月賢二. 2000: アカマンボウ目. *in* 日本産動物大百科 6. 魚類. 68-71. 平凡社, 東京.

Summary

Seven large individuals of a kind of ribbonfish, measuring more than 2 m in total length, *Trachipterus ishikawae* JORDAN et SNYDER (Trachipteridae) stranded or found at and near the coasts of Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan during 1987-2004 were recorded.

追 記

白浜町のお二方のお知らせにより貴重な2例の捕獲記録を追加する。

1) 2001年3月下旬(4月初旬?)に、白浜町湯崎の露天風呂傍の人工の石組みの前へ、体長が2mを優に超えて巾が10cm ほどもある大形のサケガシラが1個体漂着した。かなり弱っていたので清水邦夫氏が捕獲した。

2) 2004年4月25日、瀬戸臨海実験所北浜の沖、約100mの水深2mほどのところを遊泳していた1個体を、たもで南 淳氏が掬い上げた。体に傷のない個体で、捕獲後に、即刻、計測をしたところ、全長165cm(尾鰭は欠如)、体高18.7cm、眼の直径6.0×5.7cm、体重4.5kgあった。解剖して内臓を調べたが寄生虫は発見されなかった。(紀伊民報, 2004年5月1日付け)

Two more records, one in 2001 and the other in 2004, were added in Table 1.